



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社

コード番号 1414 URL <http://www.sho-bondhd.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 関口 恭裕 TEL 03-6892-7101

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績 (2020年7月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	18,553	40.4	3,049	50.5	3,085	50.3	2,054	51.0
2020年6月期第1四半期	13,219	0.0	2,026	△8.0	2,053	△8.6	1,360	△8.3

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 2,252百万円 (58.8%) 2020年6月期第1四半期 1,418百万円 (△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	38.16	—
2020年6月期第1四半期	25.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	100,667	83,522	82.9
2020年6月期	102,667	83,617	81.4

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 83,460百万円 2020年6月期 83,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	35.00	—	44.50	79.50
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	40.00	—	46.50	86.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,700	6.1	13,400	3.6	13,850	2.5	9,300	3.3	172.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	56,745,180株	2020年6月期	56,745,180株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	2,917,186株	2020年6月期	2,917,126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	53,828,024株	2020年6月期1Q	53,828,254株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年7月1日～2020年9月30日）における当社グループの連結業績につきましては、受注高は、前第1四半期において阪神高速道路株式会社から受注した大型工事を含め四半期ベースでは過去最高の受注高を計上したため、その反動で前年同期比9,508百万円減少（33.9%減）の18,500百万円となりました。売上高は、過去最高の受注残高でスタートし、豊富な手持ち工事の施工を順調に消化したことで第1四半期では過去最高の売上高となる前年同期比5,334百万円増加（40.4%増）の18,553百万円となりました。受注残高は、売上高とほぼ同額の受注高を確保し、前期末より53百万円減少しましたが、前年同期比では2,002百万円増加（2.9%増）の70,893百万円となり、引続き高い水準を維持しています。

利益につきましては、完成工事高の大幅な増加により売上総利益は前年同期比1,229百万円増加（41.9%増）の4,160百万円となり、営業利益は販売費及び一般管理費が増加しましたが売上総利益の増加が上回ったことにより、前年同期比1,023百万円増加（50.5%増）の3,049百万円、経常利益は前年同期比1,032百万円増加（50.3%増）の3,085百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比693百万円増加（51.0%増）の2,054百万円となりました。売上高、利益とも第1四半期では過去最高の業績となり、前年同期比で増収増益の結果となりました。

各セグメントにおける、受注実績、売上実績、及び受注残高は次のとおりです。（各実績は外部顧客に対するものを記載しています。）

受注実績

（単位：百万円）

区分	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
国内建設	27,269	17,890（△34.4%）
その他	739	609（△17.6%）
合計	28,009	18,500（△33.9%）

（注）表中の百分率は、対前年同期増減率

売上実績

（単位：百万円）

区分	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
国内建設	12,479	17,944（43.8%）
その他	739	609（△17.6%）
合計	13,219	18,553（40.4%）

（注）表中の百分率は、対前年同期増減率

受注残高

（単位：百万円）

区分	前第1四半期連結会計期間末 （2019年9月30日）	当第1四半期連結会計期間末 （2020年9月30日）
国内建設	68,891	70,893（2.9%）
その他	—	—（—%）
合計	68,891	70,893（2.9%）

（注）表中の百分率は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より1,999百万円減少し、100,667百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等、電子記録債務、未払法人税等及び配当金の支払のために、現金預金が減少したためです。

負債は、前連結会計年度末より1,905百万円減少し、17,144百万円となりました。これは主に、未成工事受入金及び未払法人税等が減少したためです。

純資産は、前連結会計年度末より94百万円減少し、83,522百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加を上回る配当金の支払により利益剰余金が減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期通期の連結業績予想につきましては、2020年8月11日の決算発表時に公表した数値から変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響については、現時点では予測が困難であり、今回の業績予想には織り込んでおりません。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大により業績予想の修正等が生じる場合には、速やかにお知らせします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	27,395	13,577
受取手形・完成工事未収入金等	36,094	40,690
有価証券	2,703	9,399
未成工事支出金	36	93
その他のたな卸資産	975	952
その他	2,019	1,774
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	69,206	66,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,838	2,813
機械装置及び運搬具（純額）	206	195
工具、器具及び備品（純額）	208	196
土地	8,643	8,643
リース資産（純額）	61	57
建設仮勘定	177	319
有形固定資産合計	12,134	12,226
無形固定資産		
のれん	623	598
その他	94	93
無形固定資産合計	718	692
投資その他の資産		
投資有価証券	16,944	17,234
退職給付に係る資産	630	643
繰延税金資産	585	940
土地再評価に係る繰延税金資産	747	747
その他	1,716	1,727
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	20,608	21,278
固定資産合計	33,461	34,196
資産合計	102,667	100,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,514	5,790
電子記録債務	3,679	3,294
未払法人税等	2,847	1,203
未成工事受入金	1,821	1,188
賞与引当金	—	1,363
役員賞与引当金	273	—
完成工事補償引当金	282	299
工事損失引当金	104	136
その他	2,948	2,276
流動負債合計	17,471	15,553
固定負債		
完成工事補償引当金	387	384
役員退職慰労引当金	14	15
退職給付に係る負債	1,086	1,103
その他	89	87
固定負債合計	1,578	1,591
負債合計	19,050	17,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	34,762	34,762
利益剰余金	46,289	45,948
自己株式	△2,503	△2,503
株主資本合計	83,548	83,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,835	2,042
土地再評価差額金	△1,693	△1,693
為替換算調整勘定	△14	△19
退職給付に係る調整累計額	△76	△75
その他の包括利益累計額合計	51	253
非支配株主持分	17	62
純資産合計	83,617	83,522
負債純資産合計	102,667	100,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,219	18,553
売上原価	10,287	14,393
売上総利益	2,931	4,160
販売費及び一般管理費	905	1,111
営業利益	2,026	3,049
営業外収益		
受取利息	17	11
受取配当金	5	3
受取賃貸料	25	28
その他	7	21
営業外収益合計	56	65
営業外費用		
支払手数料	8	8
賃貸費用	17	15
その他	3	5
営業外費用合計	29	29
経常利益	2,053	3,085
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	23	—
特別利益合計	23	0
特別損失		
完成工事修補費用	66	48
その他	0	1
特別損失合計	66	49
税金等調整前四半期純利益	2,010	3,036
法人税、住民税及び事業税	723	1,431
法人税等調整額	△67	△445
法人税等合計	655	986
四半期純利益	1,354	2,050
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,360	2,054

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,354	2,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	206
為替換算調整勘定	0	△4
退職給付に係る調整額	27	0
その他の包括利益合計	64	202
四半期包括利益	1,418	2,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,424	2,256
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

前連結会計年度(2020年6月30日)

2016年6月期において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当連結会計年度に発生した費用265百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

また、将来発生が合理的に見込まれる調査、修補費用として完成工事補償引当金に計上した金額は、当連結会計年度末において、流動負債234百万円、固定負債387百万円となっております。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び総額については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を連結財務諸表に反映していません。

当第1四半期連結会計期間(2020年9月30日)

2016年6月期において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当第1四半期連結累計期間に発生した費用48百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

また、将来発生が合理的に見込まれる調査、修補費用として完成工事補償引当金に計上した金額は、当第1四半期連結会計期間末において、流動負債249百万円、固定負債384百万円となっております。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び総額については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,479	739	13,219	—	13,219
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	341	342	△342	—
計	12,480	1,081	13,561	△342	13,219
セグメント利益	1,808	209	2,017	8	2,026

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、海外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	64
セグメントに配分していない全社費用(注)	△55
その他の調整額	△0
計	8

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,944	609	18,553	—	18,553
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	420	420	△420	—
計	17,944	1,029	18,974	△420	18,553
セグメント利益	2,935	112	3,048	1	3,049

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、海外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	78
セグメントに配分していない全社費用(注)	△77
その他の調整額	△0
計	1

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。